



## 働くパパ・ママについての調査レポート

---

2009/11/3

株式会社ネットマイル  
<http://research.netmile.co.jp/>

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。また、本レポートにかかわる損害賠償の責を一切負いません。  
本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

## 調査概要

調査タイトル:	働くパパ・ママについてのアンケート
調査手法:	インターネットリサーチ(ネットマイル会員による回答)
調査票種別:	Easyリサーチ
実施期間:	2009/10/23 10:52 ~ 2009/10/26 17:47
回答モニタ数:	600

ネットマイルでは働くパパ・ママについて、2009年10月23日から2009年10月26日にかけてアンケート調査を実施した。対象となった回答者は、アンケートに協力した4076名中、小学生以下の子どもを持ち、現在働いている20代～40代の男女600名とした。

回答者の状況は、「男性」「女性」各300名。年代は「20代」「30代」「40代」各200名。婚姻状況は「未婚」が13.5%、「既婚」が86.5%。居住地域は「北海道・東北地区」が8.3%、「関東地区」が37.2%、「北陸・甲信越地区」が5.0%、「東海地区」が13.5%、「近畿地区」が19.0%、「中国地区」が4.8%、「四国地区」が2.3%、「九州・沖縄地区」が9.8%であった。

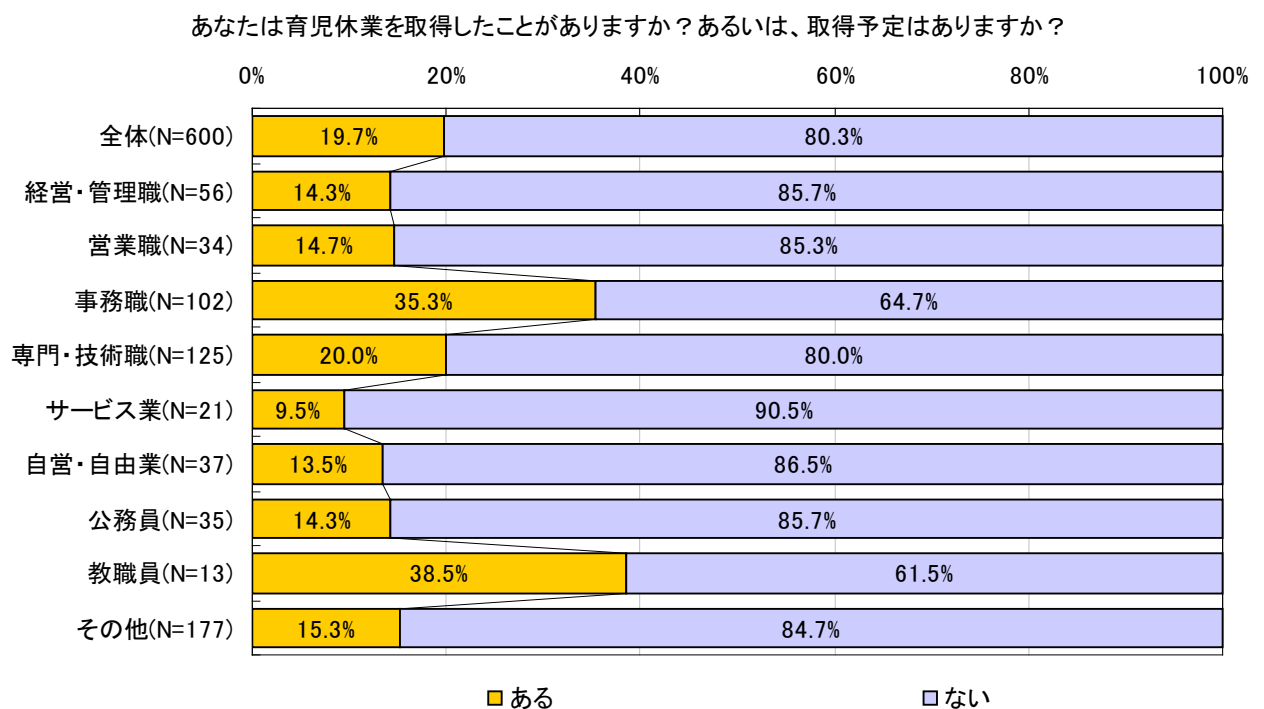
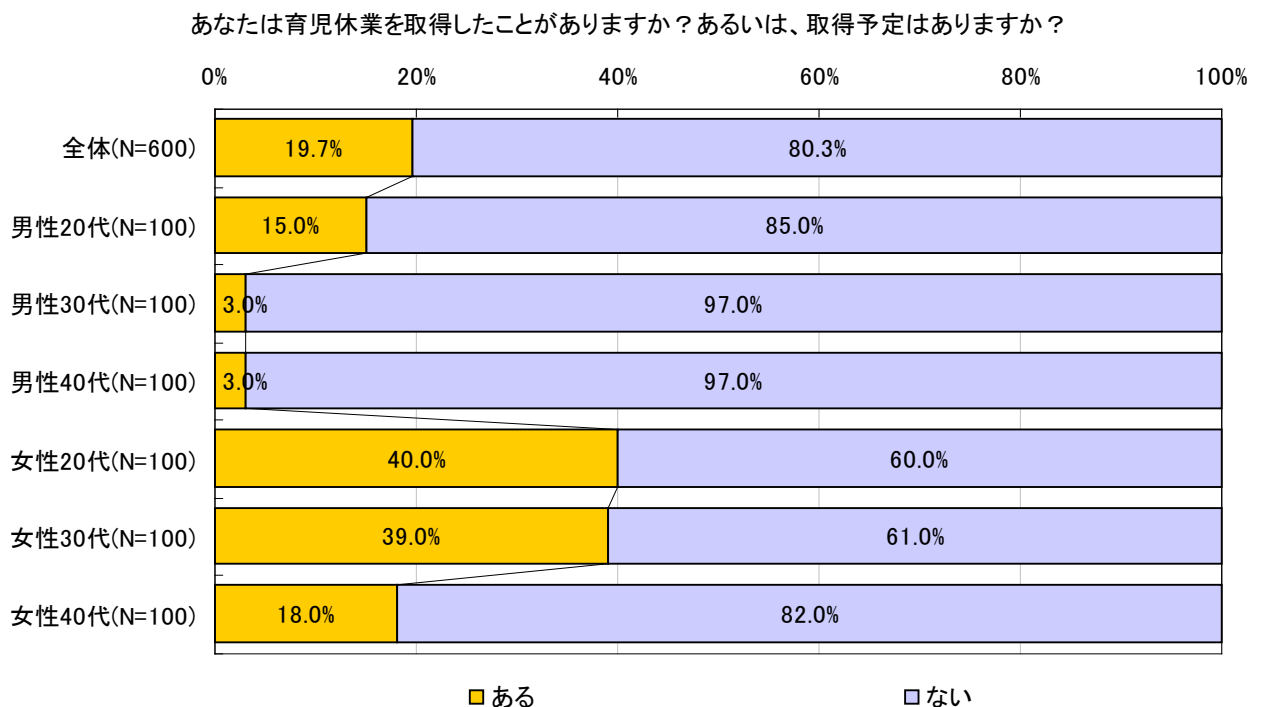
回答の結果から、男性では1割ほどの人が1ヶ月以下の育児休業を取得し、終了後は雇用条件が希望と合わないなど復帰時の苦労があった。女性では、育児休業取得経験者は3割程度で、期間は半年から1年。復帰後は仕事と家事・育児との両立で苦労する人が多いことがわかった。また男性の育児休業取得については、8割以上の人が取得を推奨しており、特に20代で積極的な姿勢がみられた。

以下、それぞれの回答結果についてレポートする。

## 育児休業を取得したことがあるのは2割程度

「あなたは育児休業を取得したことがありますか？あるいは、取得予定はありますか？」という質問をおこなったところ、全体では「ある」が19.7%、「ない」が80.3%という結果であった。

性別・年代別でみると、男性より女性のほうが“取得経験あり”の回答が高い。また男女ともに年代があがるほど“取得経験あり”の回答が下がる傾向がみられる。職種別にみると、教職員と事務職では“取得経験あり”が3割以上で突出しており、サービス業では“取得経験あり”が1割を下回り最も低くなった。



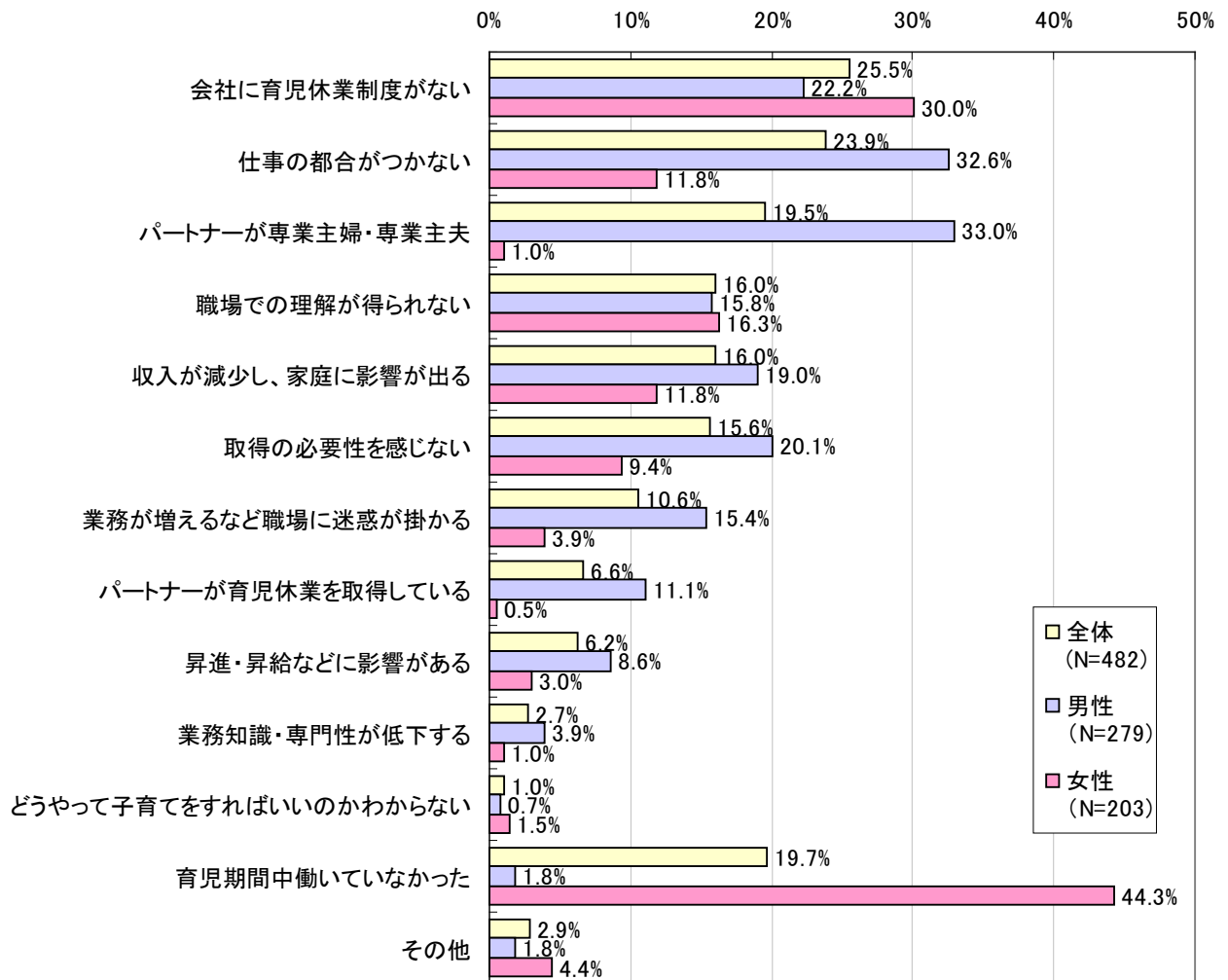
## 育児休業取得しない理由は、会社に制度がない・仕事の都合がつかないから

育児休業取得経験なしと回答した482名に対し、「育児休業を取得しない(しなかった)理由は何ですか?」という質問を複数回答でおこなった。

全体では、1位が「会社に育児休業制度がない」で25.5%、2位が「仕事の都合がつかない」で23.9%、3位が「パートナーが専業主婦・専業主夫」で19.5%、4位が「職場での理解が得られない」と「収入が減少し、家庭に影響が出る」でともに16.0%であった。

性別でみると、女性では「育児期間中働いていなかった」が44.3%だが、それ以外の理由では「会社に育児休業制度がない」が30.0%で最も高い。男性では、「仕事の都合がつかない」「パートナーが専業主婦・専業主夫」が3割以上で最も高くなった。

育児休業を取得しない(しなかった)理由は何ですか?

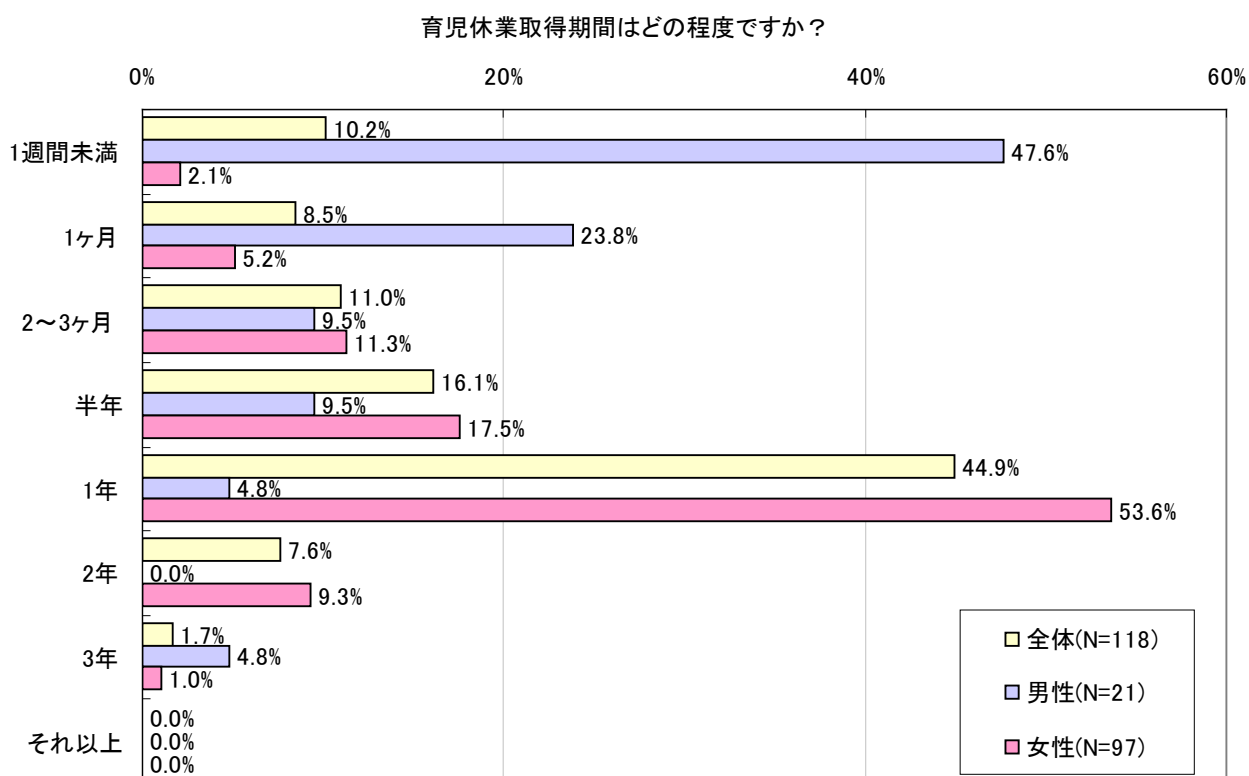


## 育児休業期間は男性が1ヶ月以下、女性が半年～1年

育児休業取得経験ありと回答した118名に対し、「育児休業取得期間はどの程度ですか？」という質問をおこなった。

全体では、「1年」が44.9%で突出して高く、次いで「半年」が16.1%、「2～3ヶ月」が11.0%となった。

性別でみてみると、男性では「1週間未満」が47.6%、次いで「1ヶ月」が23.8%。一方、女性では「1年」が53.6%で、次いで「半年」が17.5%。男性は短期間での取得が多く、女性は一般的な1年間の取得が多かった。



## 育児休業期間中、仕事に関して不安だったことは “業務知識ロス”と“育休切り”

---

育児休業取得経験ありと回答した118名に対し、「育児休業期間中、仕事に関して不安だったことはなんですか？」という質問を自由記述でおこなった。

多くみられたものはふたつあり、ひとつは「スキルの低下」や「復帰して仕事についていけるのか」、「仕事を忘れてしまう不安」などの“業務知識ロス”に関するものであった。

もうひとつは「復職する場所があるか」、「解雇されるのではないか」など“育休切り”に関するものであった。

その他には、保育施設に入園できるか、希望の仕事に就けるか、会社の動向や職場の変化に対応できるのかなどの不安があげられた。

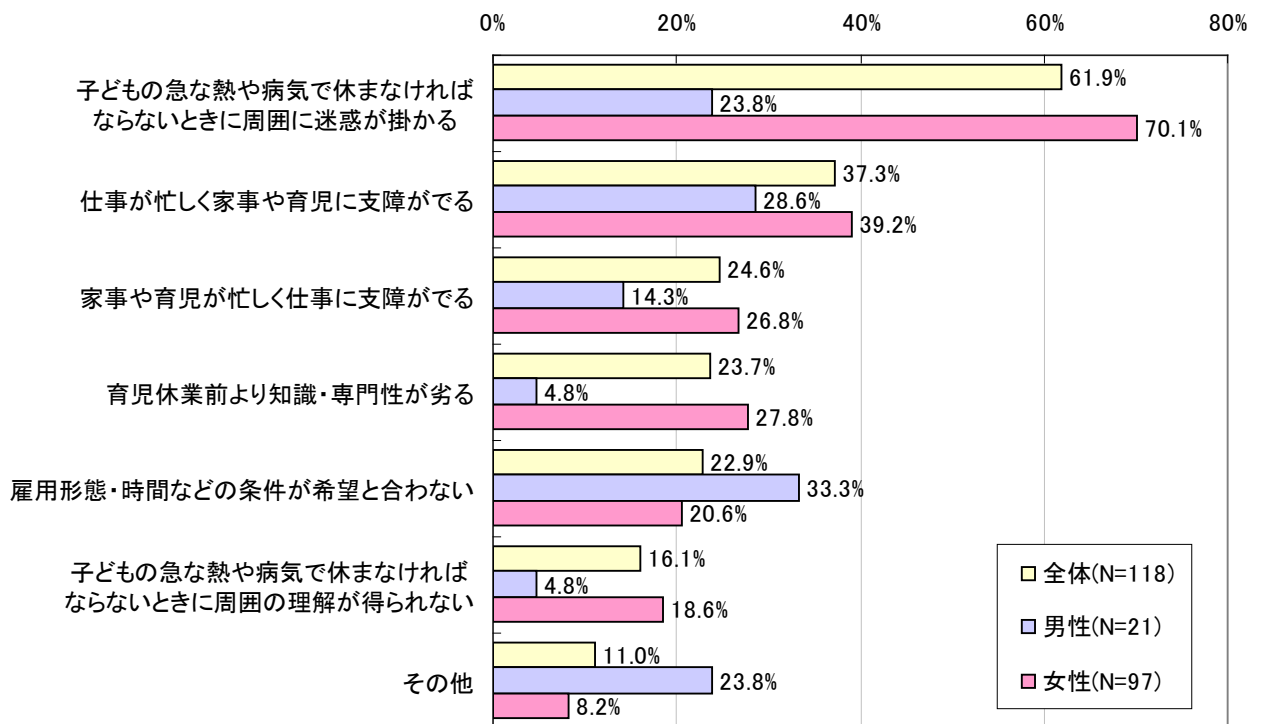
## 仕事に復帰してからの苦勞は 「子どもの急な熱や病気で休まなければならないときに周囲に迷惑が掛かる」

育児休業取得経験ありと回答した118名に対し、「育児休業終了後、仕事に復帰して苦勞したことは何ですか？」という質問を複数回答でおこなった。

全体では、1位が「子どもの急な熱や病気で休まなければならないときに周囲に迷惑が掛かる」が61.9%、2位が「仕事が忙しく家事や育児に支障がでる」が37.3%、3位が「家事や育児が忙しく仕事に支障がでる」で24.6%となった。

性別でみると、全体的に女性のほうが回答率が高く、「子どもの急な熱や病気で休まなければならないときに周囲に迷惑が掛かる」など復帰後仕事をしていく上で苦勞を感じる場面が多いことが伺える。男性は復職時に苦勞があるようだ。その一方で、「その他」の回答では“苦勞はない”という意見もみられた。

育児休業終了後、仕事に復帰して苦勞したことは何ですか？

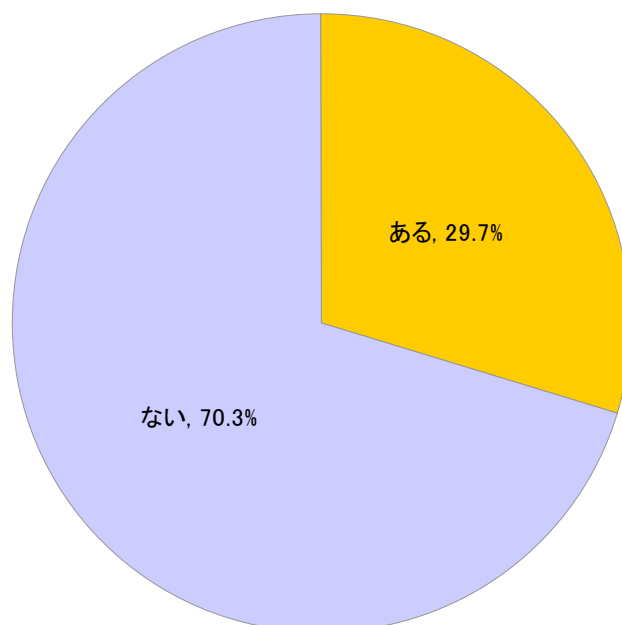


## 育児休業などを理由に不利益な取り扱いをされた経験のある人が3割

育児休業取得経験ありと回答した118名に対し、「妊娠・出産、産休・育児休業等の申出・取得したこと等を理由として、解雇その他不利益な取扱いをされた経験はありますか？」という質問をおこなった。

全体では、「ある」が29.7%、「ない」が70.3%で、不利益な扱いをされた経験がある人が3割ほどであった。不利益な扱いの内容としては、“昇進・昇格などにおいて不利益な評価をおこなう”“降格させる”“解雇”などがみられた。

妊娠・出産、産休・育児休業等の申出・取得したこと等を理由として、  
解雇その他不利益な取扱いをされた経験はありますか？  
全体(N=118)



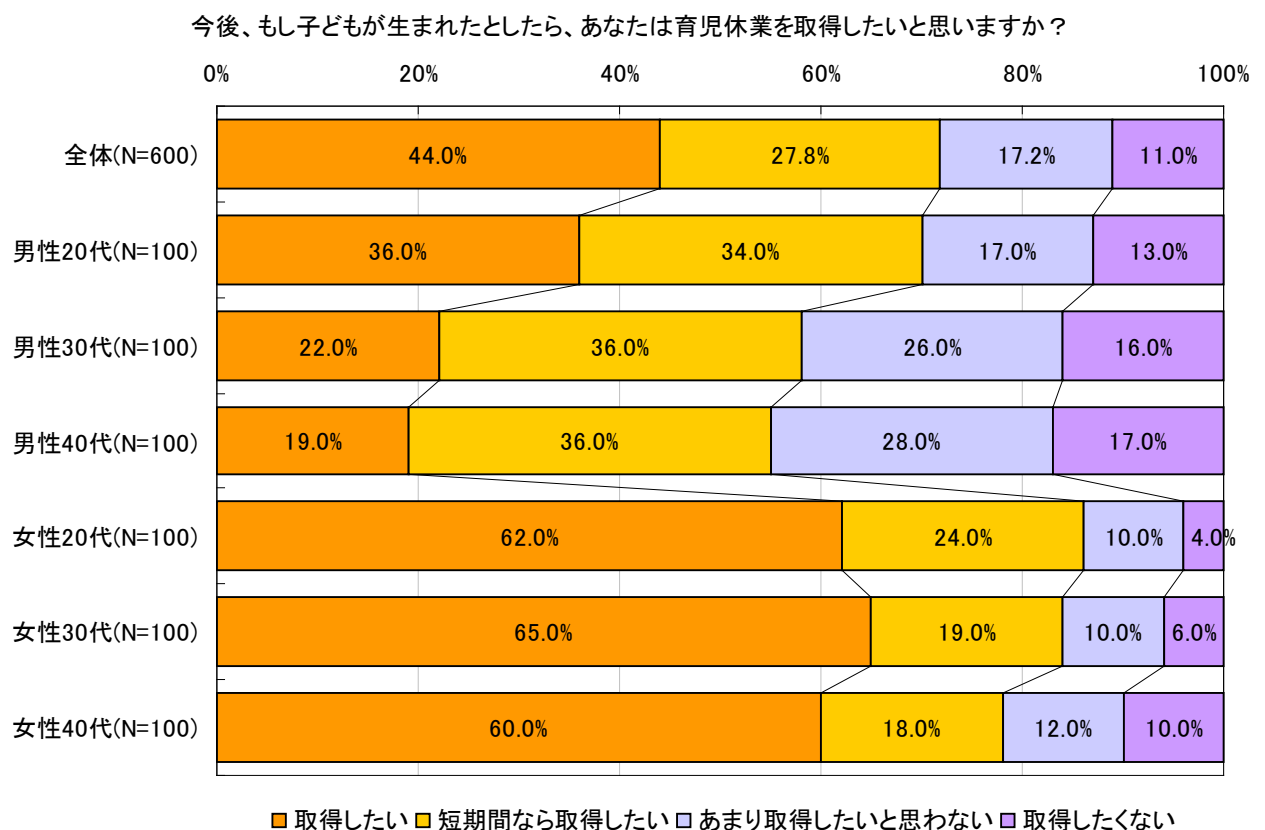
## 今後、育児休業を取得意向があるのは男性6割、女性8割

「今後、もし子どもが生まれたとしたら、あなたは育児休業を取得したいと思いますか？」という質問を「取得したい」から「取得したくない」までの4段階評定でおこなった。

全体では「取得したい」と「短期間なら取得したい」を併せた“取得したい”の回答が71.8%、「あまり取得したいと思わない」と「取得したくない」を併せた“取得したくない”の回答が28.2%で、“取得したい”が7割以上となった。

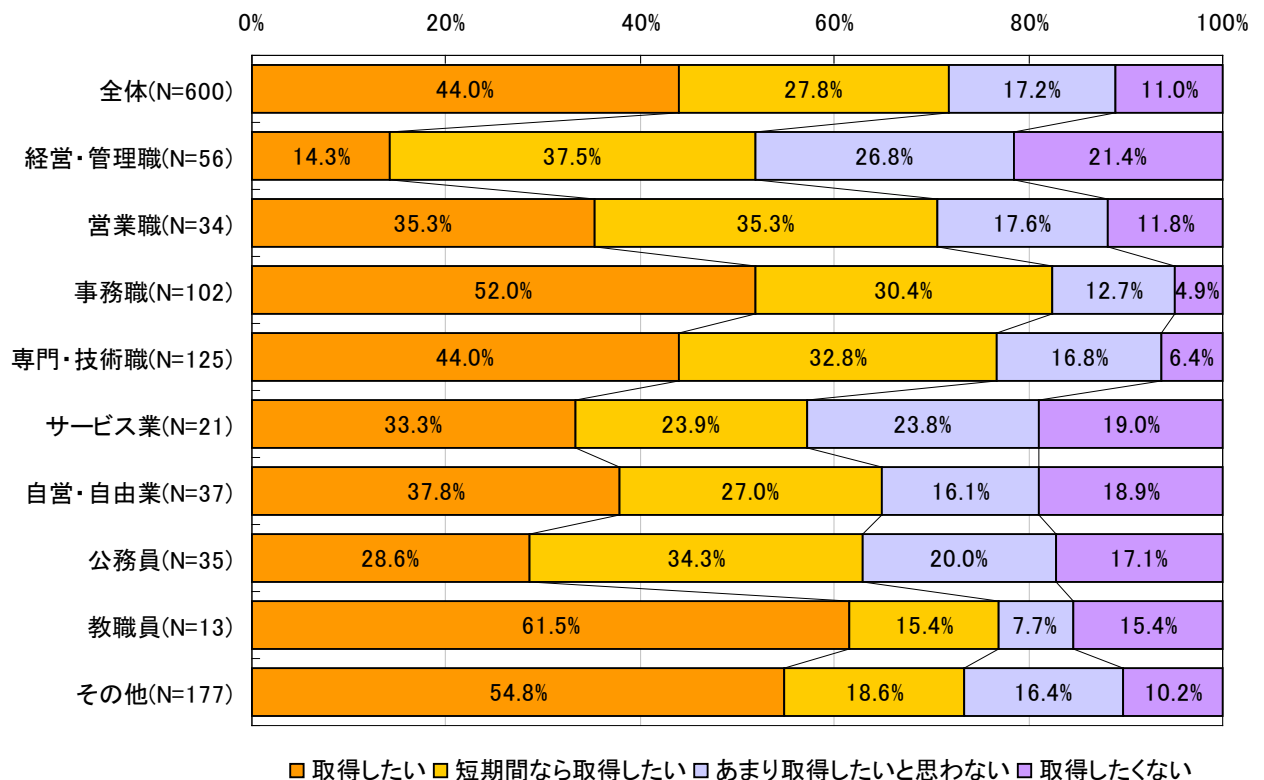
性別・年代でみると、男性では6割前後、女性では8割前後で女性のほうが“取得したい”の回答が上回っている。また男女とも年代があがるほど“取得したい”の回答が低くなる傾向があるようだ。

職業別でみると、経営・管理職では42.8%、サービス業では57.2%と“取得したい”の回答が他の職業に比べやや低くなっている。



## 今後、育児休業を取得意向があるのは男性6割、女性8割

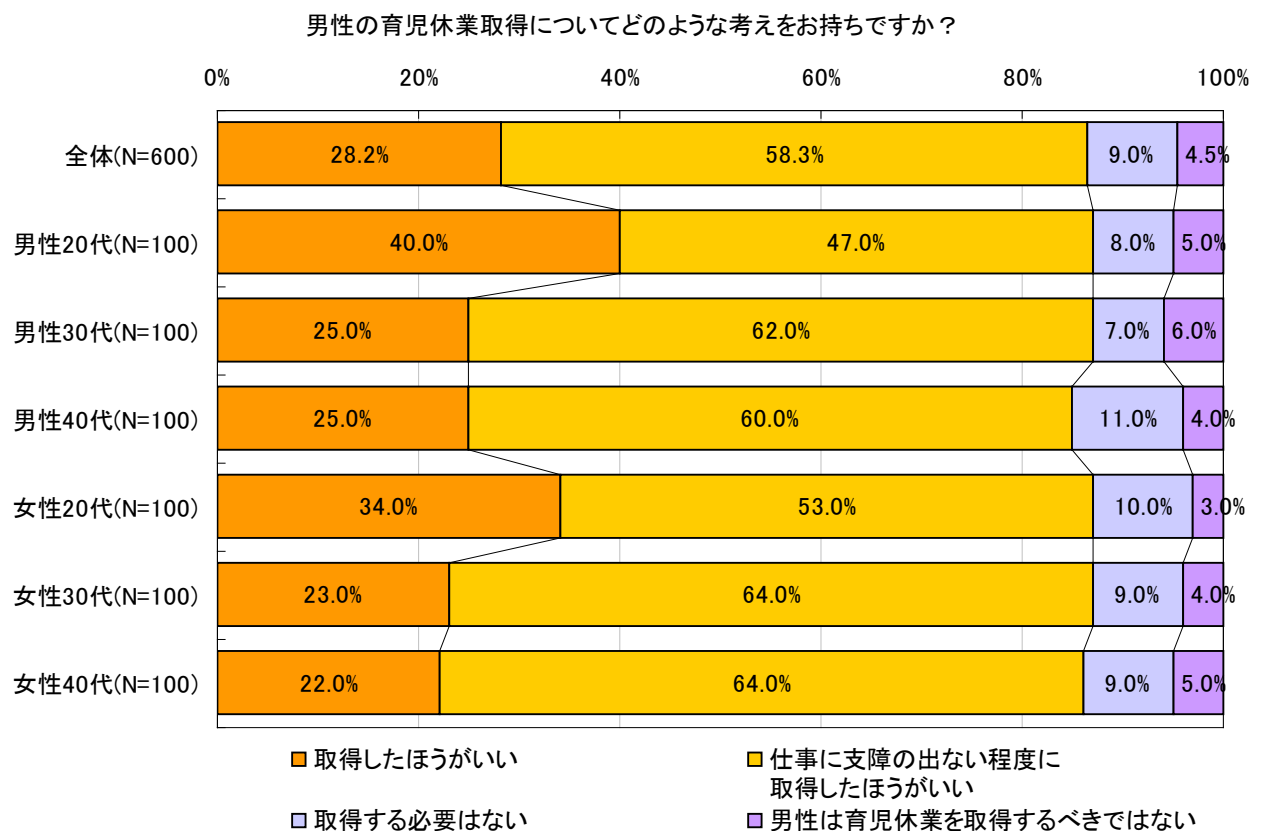
今後、もし子どもが生まれたとしたら、あなたは育児休業を取得したいと思いますか？



## 男性の育児休業取得推奨が8割以上

「男性の育児休業取得についてどのような考えをお持ちですか？」という質問をおこなったところ、全体では「取得したほうが良い」と「仕事に支障の出ない程度に取得したほうが良い」を併せた“取得推奨”が86.5%、「取得する必要はない」「男性は育児休業を取得すべきではない」を併せた“取得非推奨”が13.5%となった。

性別・年代でみると、全ての年代で“取得推奨”が8割をこえている。特に、男女とも20代では「取得したほうが良い」の回答が他の年代よりも高くなっており、若い年代のほうが男性の育児休業取得に積極的な姿勢であることが示唆された。



## 男性の育児休業期間は、理想が“半年以下”、現実が“1ヶ月以下”

男性の育児休業取得について“取得推奨”と回答した519名に対し、「男性の育児休業取得期間はどのくらいの期間が良いですか？」という質問を、理想の期間と現実を考慮し適切と思われる期間についておこなった。

理想の期間について、「1ヶ月」が27.4%、次いで「半年」が22.5%、「2～3ヶ月」が22.0%と、1ヶ月以上半年以下の期間が6割を占めた。また現実を考慮し適切と思われる期間については、「1週間未満」が38.2%、「1ヶ月」が36.0%と1ヶ月以下で6割を占め、男性に長期の育児休業を取得してほしいという希望があるものの、それが叶わない現状が垣間見える結果となった。

